

平成 26 年度 第 1 回学校協議会

日時 平成 26 年 7 月 25 日（金）13:30～15:00

## 1 「学校経営計画」について

（質疑）

（委員） 「交流学习・共同学習をめざす」とあるが交流学习と共同学習を分けて記されているが何か意味がありますか。

（校長） 交流等には段階があると認識しています。今年度は交流から始めて共同学習に発展させていくことが理想形であります。

（委員） 「就労をめざす」という文言を学校目標に掲げることは学校教育だから避けられているのでしょうか、就労へのノルマなど、学校の目標に就労率などはどのように位置づけられているのでしょうか。

（校長） あえてそういった項目は目標から外しました。来年度あたりの目標には就労について具体的な数字をあげるのではないかと考えています。

## 2 「今年度の交流活動計画」について

（質疑）

（委員） 鳥飼をなんとか表に出していきたいという地域の思いでやっているイベントでこれに参加されているということは非常にいいことだと思います。その他の障がい者の団体も参加しています。

（事務局） これ以外にもどんどん貢献していきたいと思っています。

「防災 PT の取り組み」について

（質疑）

（委員） 防災計画の完成版は今年度末にできると思いますが、今何か起きた時は？

（事務局） 現在、両校で別々のマニュアルはあるが、実際の有事に両校で動くには、課題があるので埋めて行きたいと考えています。

（委員） 地域の人たちのためにも防災マニュアルがあれば、地域と学校とが非常時は一体化するため、そういったマニュアルがあると役立ちます。地域との連携が防災には不可欠です。

（委員） かつては淀川で漁をしていた漁師さんの船が水害の際には非常に役に立ちました。現在自治体ではボートの購入なども検討しています。今後学校とも連携して進めていきたいのでよろしくをお願いします。

（委員） 学校は災害時に地域の住民の避難の中心になることが、あるがどの辺までを想定しての防災計画を立てていますか。

（事務局） 避難場所としてされた場合を想定しています。生徒、地域の方などの避難につ

いても想定しています。

(事務局) 9月の防災訓練の概要について説明(津波想定での2次避難がある点)

(校長) 本日、摂津市の防災の方が来校された。学校を市民の1次避難所に指定させてもらいたいと要望がありました。

避難所として使っていただくためにはどのような体制が必要であるか等を大阪府や摂津支援の校長と検討したうえで避難所として運営をしていくことを前向きにとらえて考えています。

### 3「授業満足度調査1・2」集計結果(授業参観アンケート) 別綴じ資料

(質疑)

(委員) グラフにしていただけるとわかりやすいです。否定的な意見がすくない。クレームなどもあまり見当たらず、肯定的な前向きな意見が多い。保護者の意見を取り入れられたらよいと思います。

(質疑)

(委員) 「学校経営計画」について企業へのアプローチ数の25年度から26年度の減少について、教員数が増えているのになぜ?

(事務局) →延べ数であり、今年度になおすと延べ数ならば、すでに超えています。具体的な実習先の確保数も増加しています。

### 4「学校教育自己診断」改訂作業の進捗状況について

(協議)

(委員) 昨年度の指摘を具体的に進めていただいた。アンケート内容についてご意見をいただきたい。

(委員) 非常にいいと思います。昨年に比べ、見やすくなったということです。

(委員) 個別の支援のところで、個別の移行支援計画の項目を入れたらいいのではないか

(事務局) 様式等については、現在3年生が在籍していないので試行中。一部移行支援計画の中に体験実習先などを随時記録していつている段階。来年度から進路先等関係機関と連携していく準備は整えています。

(委員) 最終的には、アンケートの項目数はどれくらいだったら答えやすいと考えていますか?

(校長) 生徒・保護者は30問ぐらい、生徒についてはもう少し絞れたら。教員は、自己評価なので項目数が多くなるが、50問におさめたいと考えています。

本日のまとめと終わりの挨拶